



2019年度 「第18回日本臨床工学技士教育研究会」 テーマ 臨床工学技士カリキュラムを考える

臨床実習担当者、養成校教員、メーカー等の教育担当者、学生教育にご関心のある方

当研究会では臨床現場で活躍する未来の臨床工学技士を育成する養成校と、実際の臨床領域における意識乖離を最小限にするための研究会であります。臨床実習での教育に求められていることを確認し、また養成校での時代に則した医療環境に対する教育をどう対応させてきたか、どう対応すべきかを臨床現場と供に議論し、更なる充実した臨床実習教育体制が整う事を目的に活発な議論の場となればと考えております。

今回は看護師による特定行為から発する多職種によるタスクシフトの動向が注目されるところです。今後、臨床工学技士業務も「医師の働き方改革におけるタスクシフト・シェア」が急速に進むことが予想されます。

しかし「養成過程」では手術・心カテ・内視鏡等の業務は十分な教育を受けていないのが現状であります。このような状況を教育現場と臨床現場がどのように対応・打開し少しでも早く卒業生を臨床現場に適合させることができるのかを定義し現在のカリキュラムの課題と将来展望を各演者の先生から提示して頂き参加者と考察したいと思っております。

臨床実習担当者、養成校教員、メーカー等の教育担当者、学生教育にご関心のある関係各位の積極的なご参加をお願いいたします。

■開催概要

- ◆ 会 期 : 2019年11月9日(土)13:00(受付12:30)～16:55
- ◆ 会 場 : ソラシティカンファレンスセンター Room A (定員: 56人)
東京都千代田区神田駿河台 4-6
- ◆ 研究会参加費 : 3,000円 (オンライン決済)
- ◆ 申込期間 : 2019年9月15日(日)～9月27日(金)
- ◆ 申込方法 : JSCホームページをご確認下さい (<http://www.ja-ces.or.jp/jsc/>)
※事前申し込みのみです。当日受付は致しませんのでご注意ください。

■プログラム(予定)

13:00	開会挨拶	司会	つくばセントラル病院 中山 裕一 先生 杏林大学 中島 章夫 先生
【基調講演】			
13:05	「業務指針 2020 改定の概要」 仮題公益社団法人 日本臨床工学技士会 副理事長 松金 隆夫 先生	
13:35	「臨床実習指導者養成と今後の課題」 仮題埼玉医科大学 保健医療学部 臨床工学科 山下 芳久 先生	
14:05	(休憩)		
14:15	【臨床工学技士カリキュラムを考える】		
【施設側】			
1.	「新人教育の問題点から臨床工学技士カリキュラムを考える」 仮題千葉メディカルセンター 配野 治 先生	
2.	「臨床工学技士カリキュラムを考える ～施設より～」 仮題神戸大学医学部附属病院 横山 朋大 先生	
【養成校側】			
3.	「臨床工学技士養成施設におけるカリキュラム改訂経緯と新カリキュラム見直しの骨子について」 仮題杏林大学 中島 章夫 先生	
4.	「ダブルライセンス養成教育による発見と課題」 仮題新潟医療福祉大学 浅井 孝夫 先生	
5.	「養成校の教員が理想と考えるカリキュラム改定の在り方について」 —JAEFCEにおける新カリキュラム改訂に関するアンケート結果から— 仮題吉田学園 工藤 元嗣 先生	
15:30	(休憩・総合討論会場設営)		
15:50	【総合討論】		
16:55	閉会挨拶		

■お問い合わせ (詳細は当会のホームページで随時ご案内致します)
公益社団法人 日本臨床工学技士会 JACE 研修センター (本部)
JSCホームページのお問い合わせフォームよりお願いいたします。
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-3-4 KTお茶の水聖橋ビル 5階

<http://www.ja-ces.or.jp/jsc/>